

## 韓国語の「たて／よこ／ななめ」

申 鉉 竣

### 1 はじめに

日本語の「たて／よこ／ななめ」と対応する韓国語には漢字語と固有語を含めて、いくつかの語彙がみられる。

本稿は、韓国語の「たて／よこ／ななめ」に対応する語が、語彙そのものがあらかず意味として、本来の語彙の意味が含まれているか、比喩的に用法として用いられるかによって、具体的なものをあらかず場合と抽象的なものをあらかず場合に分けて考察をおこなう。

まず、品詞別に分類してみると以下ようになる。

- ① 複合動詞
- ② 動詞との複合名詞
- ③ 名詞との複合による名詞
- ④ 名詞としての用法

この分類基準にしたがって、韓国語の「たて／よこ／ななめ」の使用状況をみていく。

### 2 「종」(漢字語)／「세로」(固有語)と「たて」

辞書の「종」と「세로」の定義をみる。

종【**縦**】**名詞** 縦 **類語** 세로

세로 **名詞**

1 縦。類語 종(縦)

2 〈세로、세로로の形で副詞的に用いられて〉縦に。

(朝鮮語辞典第11版) 小学館

2-1 「종」(漢字語)／「세로」(固有語)と「たて」の用法が一致する場合

2-1-1 具体的なものを表す場合

②動詞との複合名詞

종서, 세로쓰기(縦書き) 활자를 세로 짜기(縦組み)

③名詞との複合による名詞

- 중구 (縱溝) 중적 (縱笛) 중단 (縱斷) 중대 (縱隊) 중람 (縱覽)
- 중렬 (縱列) 중사 (縱糸) 중문, 세로무늬 (縱紋) 중주 (縱走)
- 중파 (縱波) 종폭, 세로폭 (縱幅) 중횡 (縱橫) 수혈 (縱穴、豎穴)
- 수갱 (縱坑、豎坑) 세로줄무늬 (縱縞)
- 중선, 세로줄, 세로선, 세로금 (縱線) 중조, 세로짜기 (縱組)
- 중적, 세로피리 (縱笛) 종축, 세로대, 세로축 (縱軸)
- 중서, 세로쓰기 (縱書き)

2-2-2 抽象的なものを表す場合

③名詞との複合による名詞

- 중횡무진 (縱橫無盡)

韓国語の漢字語である「중」、固有語である「세로」の意味と日本語の「たて」の用法が一致する場合の例である。この場合、具体的なものをあらわす場合によくあらわれ、なかでも③名詞との複合による名詞に目立って用いられる。

2-2 「중」 と 「세로」 のみ見られる場合

①複合動詞

- 세로지다 (両側の端が上から下の方向に向かっている)

②動詞との複合名詞

- 세로누르기 (柔道の技で、押し込み)
- 세로뜨기 (編み物で、縦の方向に編むこと)

韓国語の固有語の「세로」のみ用いられる例である。具体的なものをあらわす場合に見られる。これに対応する日本語の語彙は見当たらない。

2-3 「たて」のみ見られる場合

②動詞との複合名詞

- 가로 될 매듭이 세로 된 잘못 맺은 매듭 (縦結び)
- 세로로 쪼갬, 조직에서 종적관계로만으로 행동하는 일 (縦割り)

日本語の「たて」のみ用いられる例で、具体的なものをあらわす②動詞との複合名詞に見られるが、その例は多くない。これに対応する韓国語の語彙は見当たらない。

3 「가로」、「옆」、「옆」 (固有語) / 「횡」 (漢字語) と 「よこ」

「가로」

- 1 横. 对세로
- 2 〈副詞的に用いられて〉横に, 横長に.

「옆」

**名詞** 横、そば、傍ら、わき、隣

「옆」

I **名詞** そば

1 (人の)すぐ横、わき傍ら

2 (親の)もと

II **接頭** 横の…、わきの、分かれた

「횡」 出典なし

(朝鮮語辞典第11版) 小学館

「횡」

=가로 **反**종 (縦)

(표준국어대사전제2판) 두산동아

3-1 「가로」、「옆」、「옆」(固有語)／「횡」(漢字語)と「よこ」の用法が一致する場合

3-1-1 「가로」と「よこ」が具体的なものを表す場合

①複合動詞

가로누이다 (横たえる) 가로놓이다 (横たわる) 가로지르다 (横切る)

가로질리다 (横切られる)

②動詞との複合名詞

가로짜기 (横組み) 가로서기 (横並び) 가로다지 (横向き)

가로쓰기 (横書き)

③名詞との複合による名詞

가로대、횡목 (横木) 가로지 (横目の紙) 가로선、횡선 (横線)

가로나비、횡폭 (横幅) 가로무늬 (横縞)

④名詞としての用法

가로눕다、모로눕다 (横になる) 가로서다 (横向きに立つ)

가로타다 (横向きに乗る) 가로퍼지다 (横に広がる) 가로깨지다 (横に破れる)

3-1-2 「가로」と「よこ」が抽象的なものを表す場合

①複合動詞

가로채다 (横取る)

②動詞との複合名詞

가로잡、횡령하다、횡취 (横取り) 가로차다、가로채다 (横取りする)

가로차다、횡류 (横流し)

韓国語の固有語である「가로」の意味と日本語の「よこ」の用法が一致する場合の例である。この場合、具体的なものをあらわす場合に多くあらわれ、抽象的なものをあらわす例は、②動詞との複合名詞の場合に用いられる。

### 3-1-3 「옆」 と 「よこ」 が具体的なものを表す場合

#### ②動詞との複合名詞

옆질 (横揺れ)

#### ③名詞との複合による名詞

옆길 (横道) 옆구리 (横腹) 옆널 (横板) 옆넓이 (横の面積)

옆눈 (横目) 옆선 (横線) 옆쪽 (横の方向) 옆얼굴 (横面)

### 3-1-4 「옆」 と 「よこ」 が抽象的なものを表す場合

#### ④名詞としての用法

옆으로 빠지다 (横へそれる)

韓国語の固有語である「옆」の意味と日本語の「よこ」の用法が一致する場合の例である。「옆」は「가로」と比べて、語彙の数は多くない。この場合、抽象的なものをあらわす例は、④名詞としての用法に見られる。

### 3-1-5 「곁」 と 「よこ」 が具体的なものを表す場合

#### ②動詞との複合名詞

곁눈질 (横目使い)

#### ③名詞との複合による名詞

곁길 (横道) 곁눈 (横目)

韓国語の固有語である「곁」の意味と日本語の「よこ」の用法が一致する場合の例である。具体的なものをあらわす場合のみあらわれ、抽象的なものをあらわす例は見られない。この場合の「곁」は、「옆」に言い換えることもでき、「곁눈질」は「옆눈질」に、「곁길」と「곁눈」は「옆길」と「옆눈」とも言える。

### 3-1-6 「횡」 と 「よこ」 が具体的なものを表す場合

#### ②動詞との複合名詞

횡서 (横書き) 횡향 (横向き)

#### ③名詞との複合による名詞

횡격막 (横隔膜) 횡단 (横断) 횡대 (横隊) 횡렬 (横列)

횡목 (横木) 횡문 (横文) 횡문 (横縞) 횡서 (横書き) 횡사 (横糸)

횡적 (横笛) 횡조 (横組) 횡축 (横軸) 횡파 (横波) 횡포 (横暴)

### 3-1-7 「횡」 と 「よこ」 が抽象的なものを表す場合

#### ③名詞との複合による名詞

횡령 (横領) 횡사 (横死) 횡행 (横行)

韓国語の漢字語である「횡」の意味と日本語の「よこ」の用法が一致する場合の例である。具体的なものをあらわす場合と抽象的なものをあらわす場合の両方が見られる。その中でも③名詞との複合による名詞を中心に多くあらわれる。ま

た、「횡」と「よこ」が抽象的なものをあらわす場合は、マイナスの意味を含む語彙が見られることも注目できる。

### 3-2 「가로」、「옆」、「옆」のみ見られる場合

#### 3-2-1 「가로」が具体的なものを表す場合

##### ①複合動詞

가로막다 (ふさぐ、妨げる、遮る) 가로막히다 (遮られる)  
 가로말다 (手に引き受ける)

##### ③名詞との複合による名詞

가로달이 (引き戸、やり戸)

#### 3-2-2 「가로」が抽象的なものを表す場合

##### ①複合動詞

가로새다 (途中でそっと消えうせる、こっそり立ち去る、情報などが漏れる)

韓国語の固有語である「가로」のみ見られる例で、日本語の「よこ」とは対応しない。この場合数は多くないものの具体的なものをあらわす場合と抽象的なものをあらわす場合の両方の例が見られる。これらは、韓国語特有の表現であると考えられ、対応する日本語の語彙は見当たらない。

#### 3-2-3 「옆」が具体的なものを表す場合

##### ③名詞との複合による名詞

옆남名 (巾着) 옆막이名 (両側面を遮るもの) 옆막이名 (側頭骨) 옆면名 (側面) 옆서리 (側稜) 옆바람 (横を吹き抜ける風) 옆발치 (寝ている人の足下の方) 옆방 (隣の部屋) 옆벽 (両側面の壁) 옆붙이접 (接ぎ木的一种) 옆뿌리 (わきに生えた根) 옆쇠 (柱と柱の間を横につないだ木) 옆옆이 (あちこちのわきに) 옆집 (隣の家) 옆차게 (一囊、ふくろ) 옆트기 (わきあな) 옆쪽 (側面に打ちつける板) 옆훔이 (敷居などの溝の側面をそぎ取る鉋)

#### 3-2-4 「옆」が抽象的なものを表す場合

##### ①複合動詞

옆들다 (肩をもつ) 옆찌르다 (ひそかに知らせるため脇をつつく)

##### 諺

옆 찢러 절 받기 (脇をつついて礼を受ける：相手をうながしてこちらの利益を計る)

韓国語の固有語である「옆」のみ見られるもので、日本語の「よこ」とは対応しない。むしろ「そば」に近い意味になると考えられる。この場合も具体的なものをあらわす場合も抽象的なものをあらわす場合の両方が見られる。韓国語の

「昱」は、人・ものに付いて空間的な「よこ」を指すことが多い。

### 3-2-4 「결」が具体的なものを表す場合

#### ①複合動詞

결들다 (荷物などを持ってやる、人の仕事などをそばで手伝う、手助けする)  
결들이다 (添える、あしらう、一人がいろいろなことを兼ねてする)

#### ③名詞との複合による名詞

결가지 (小枝) 결간 (間借りする部屋) 결꾼 (仕事などをわきで助ける人、助手)

결노 (舷側の櫓床につけてこぐ櫓) 결노질 (舷側に櫓をかけてこぐこと) 결누르기 (柔道で抑え込み) 결동 (弓術でわきの下) 결두리 (農作業などで3度の食事以外に食べる昼食) 결땀 (わきの下の汗) 결땀내 (わきの下からひどく汗の出る病気) 결마 (副馬・そえうま) 결마기 (民族衣装の一種) 결마름 (補助小作管理人) 결마대 (ちよごりのわきの内側にあてて縫い付ける布切れ)

결방 (わき部屋、間借りしている部屋) 결방살이 (間借り住まい) 결부축 (年寄りなどのわきを抱えて歩くのを助けること) 결뿌리 (側根) 결사돈 (傍系の姻戚) 결상 (料理を一つの膳に載せられないとき、本膳のそばに添える小さい膳) 결쇠 (合い鍵) 결쇠질 (合い鍵で錠前を開けること) 결순 (側生の若葉) 결순치기 (芽搔) 결자리 (両わきの席) 결줄기 (側枝) 결집 (隣の家) 결쪽 (近い親戚) 결콩팥 (副腎) 결피 (弓柄に巻いてある桜の木)

### 3-2-5 「결」が抽象的なものを表す場合

#### ①複合動詞

결비우다 (そばに人がいない)

#### ③名詞との複合による名詞

결말 (遠回しに言う、しゃれ、語呂合わせ) 결매질 (肩をもつこと)  
결방석 (権勢家にへつらう追従者、おべっか使い) 결붙이 (遠縁)  
결다리 (必要でない部分：人を指す、余計なもの：人を指す、つけたり)  
결썰기 (楔の横に添えて打ち込む小さい楔、口添え：比喩的に)

#### ④名詞としての用法

결을 떠나다 (親のひざ元を離れる、死ぬ)  
결을 비우다 [비다] (その場を離れる、その場になくなる、手を離す)  
결을 주다 (心を許す、打ち解ける)  
결눈을 주다 (目で合図する、流し目を使って誘惑する)  
결이 비다 (世話をしてくれる人がいない)  
결눈을 팔다 (わき見、よそ見、流し目)

결썩기를 박다 (ある人の発音にほかの人が口添えをする)

**諺**

결방 년이 코곤다 (わき部屋の女が高いいびきかく、身のほども知らず遠慮なしに振舞う)

결집 잔치에 낯을 낸다 (隣の家の宴会で顔を立てる、他人のものを利用して自分のことに役立つこと)

韓国語は固有語の「결」のみ用いられる例で、日本語の「よこ」とは対応しない。むしろ、人に付いて心理的あるいは空間的な「そば、わき、もと」を指すことが多い。語彙の数も多く、具体的なものをあらわす場合は③名詞との複合による名詞に多く見られる。抽象的なものをあらわす場合では④名詞としての用法が目立っている。

**3-3 「よこ」のみ見られる場合**

**3-3-1 具体的なものを表す場合**

①複合動詞

옆을 보다 (横向く)

②動詞との複合名詞

옆으로 미끄러짐 (横すべり) 옆으로 짐 (横這い) 옆으로 뛰다 (横飛び)  
옆으로 때림 (横なぐり) 옆으로 걸음 (横歩き) 옆으로 쓰러짐 (横倒れ) 옆으로 쓰러뜨림 (横倒し) 옆에서 때림 (横打ち) 옆으로 향함 (横向き) 건물 입구나 해안에 갖다대다 (横付け) 옆으로 앉음 (横座り) 직접 관계가 없는 입장: 「옆」に解釈されることもある (横合い)

③名詞との複合による名詞

옆으로봄 (横見) 정옆 (真横) 골목길 (横丁)

**3-3-2 「よこ」が抽象的なものを表す場合**

①複合動詞

옆에서 참견함 (横槍) 억지주장, 생억지 (横車) 타인의 배우자를 연모하는것 (横恋慕) 서양문자 (横文字)

②動詞との複合名詞

잘 하지도 못하면서 공연히 좋아함 (横好き) 부정유출함 (横流し)  
옆으로 흐름, 부정유출됨 (横流れ) 억지로 밀어붙임, 또그런사람 (横紙破り)

④名詞としての用法

삐딱한 태도를 한다 (横と出る) 억지주장, 생억지를 부리다 (横車を押す)  
추파를 던지다 (横に目がある) 분별력이 있다 (横に目が切れる) 딴 데를 보다, 무시하다 (横をむく) 손 하나 까딱 하지 않는다 (横のものを縦にもし)

ない) 무리하게 밀어 불히다 (横に出る)

日本語の「よこ」のみ見られる例で、韓国語の「가로」、「옆」、「곁」、「횡」とは対応しない。日本語は「たて」を用いるものより、「よこ」を用いるものの方が多い。また「たて」は具体的なものをあらわす例は見られるが、抽象的なものをあらわす例はあまり見られなかった。それに対して、「よこ」は、抽象的なものをあらわす例も目立つことも注目できる。

#### 4 「비스듬하다」、「비딱하다」、「비스듬히」と「ななめ」

「비스듬하다」

**形容詞** やや傾いている、少し斜めだ、はすかいだ。

**縮約** 비듬하다

「비딱하다」

I **形容詞** 傾いている、やや斜めだ。

II **自動詞** やや傾く、(足などが) 軽くねじれる。

「비스듬히」

**副詞** 斜めに、はすかいに。

(朝鮮語辞典第11版) 小学館

#### 4-1 「비스듬하다」、「비딱하다」、「비스듬히」と「ななめ」の用法が一致する場合

##### 4-1-1 具体的なものを表す場合

###### ②動詞との複合名詞

비스듬한 맞은편 (ななめ向かい) 비스듬한 방향 (ななめ向き)

###### ④名詞としての用法

비스듬히 세우다 (斜めに立てる) 비스듬히 자르다 (斜めに切る)

비스듬히 기울기 시작했다 (斜めに傾いてきた)

##### 4-1-2 抽象的なものを表す場合

###### ④名詞としての用法

세상을 비딱하게 보다 (世間を斜めにみている)

韓国語の「비스듬하다」、「비딱하다」、「비스듬히」と日本語の「ななめ」の用法が一致する場合の例である。この場合、具体的なものをあらわす場合と抽象的なものをあらわす両方の意味で用いられる。また、抽象的なものをあらわす場合は、マイナスの意味を含む語彙になる。

##### 4-2 「비스듬하다」、「비딱하다」のみ見られる場合

##### 4-2-1 具体的なものを表す場合

「비스듬하다」(物体のみ)



기둥이 한 쪽으로 비스듬하다 (柱が一方に傾いている)

「비딱하다」(物体、人間両方に使用可能)

#### 4-2-2 抽象的なものを表す場合

비딱한 행동 (ひねくれた行動)

韓国語の「비스듬하다」、「비딱하다」のみ見られるもので、日本語では「傾く」が対応する。抽象的なものをあらわす場合は、数は多くないものの心、考えなどがひねくれる、ゆがむ、ぐれるなどの意味に用いることがほとんどで、マイナスの意味を含む語彙になる。

#### 4-3 「ななめ」のみ見られる場合

##### 4-3-1 具体的なものを表す場合

###### ②動詞との複合名詞

전체를 대강 읽음 (ななめ読み)

###### ③名詞との複合による名詞

비스듬히 되어있는 모습 (斜方) 비스듬히 들어가 있는 모양 (斜縞)

##### 4-3-2 抽象的なものを表す場合

###### ④名詞としての用法

기분이 언짢음 (ご機嫌ななめ) 찾아가 안부를 여쭙음 (ご機嫌うかがい)

변덕스러움 (斜めならず)

日本語の「ななめ」のみ見られる例で、韓国語は「비스듬하다」、「비딱하다」が対応しない。この場合、具体的なものをあらわす場合と抽象的なものをあらわす両方の意味で用いられる。また、抽象的なものをあらわす場合はマイナスの意味を含む語彙を多く見られる。

## 5 おわりに

以上、「たて」に対応する韓国語の「췌」(漢字語)／「세로」(固有語)、「よこ」に対応する「가로」、「옆」、「곁」(固有語)／「횡」(漢字語)、また「ななめ」に対応する「비스듬하다」、「비딱하다」、「비스듬히」を中心に用法が一致する場合と一致しない場合を、具体的なものをあらわす場合と抽象的なものをあらわす場合に分けて考察をおこなった。その結果、「たて」をあらわす「췌」(漢字語)／「세로」より、「よこ」をあらわす「가로」、「옆」、「곁」(固有語)／「횡」(漢字語)の語彙が多くみられた。またこれらが抽象的なものをあらわすときは、マイナスの意味を含む語彙が多く使われることもわかった。